

1. 病名を入力、選択する。



まず、知っている病名や一般的な呼称などの言葉を入力してください。

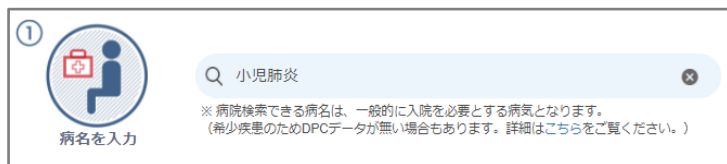
ここでは例として「肺炎」と入力します。



「肺炎」と入力します。

自動的に正式な病名の候補が入力した下に表示されます。

候補の中から適切と思われる DPC 病名をクリックしてください。



選択した DPC 病名が自動的に表示されます。

「DPC」とは、病院毎の共通のモノサシとして比較分析するための情報で、診断群分類包括評価のこと。

英語では、DiagnosisProcedureCombination と書きます。

Diagnosis とは「診断」、Procedure とは「手術を含む医学的処置」、Combination とは「組み合わせ」を意味します。

厚生労働省は DPC 病名によってデータを集積しているため、DPC 病名を選択することによってはじめて、病院間の患者数や平均在院日数を比較することができるようになります。

2. 病院を探す範囲を決める(A:地域を指定して検索)

探し方には、「地域を指定して検索」(2-A)と「郵便番号で検索」(2-B)の2つがあります。

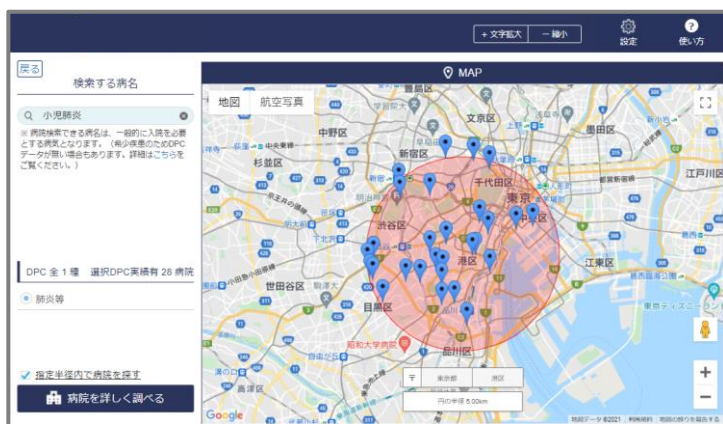
2-A 「地域を指定して検索」



検索したい地域を選択して検索することができます。検索ボタンをクリックすると、地図上で病院を確認する画面に進みます。



追加ボタンを押すことで別の地域を選択し、比較することができます。



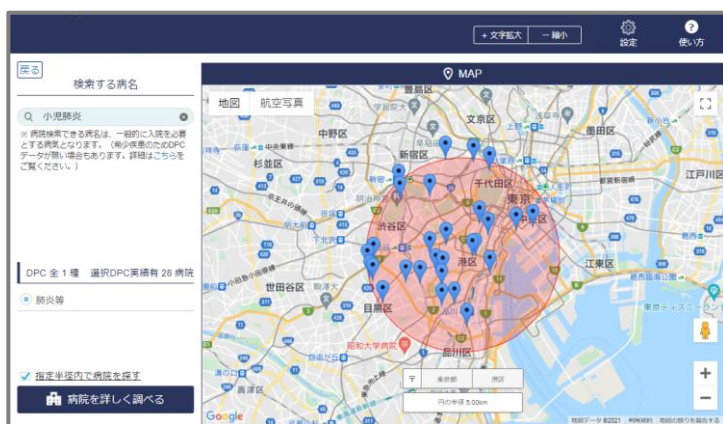
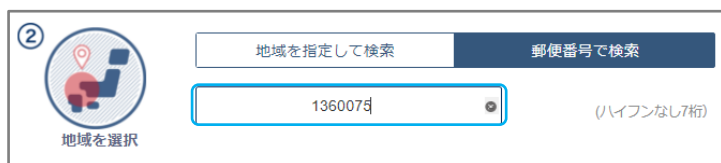
大きな病気にかかった場合、近くの病院で手術すべきか、飛行機に乗ってでも都会の病院で手術すべきか、その判断ができるようになります。

2. 病院を探す範囲を決める(B:郵便番号で検索)

探し方には、「地域を指定して検索」(2-A)と「郵便番号で検索」(2-B)の2つがあります。

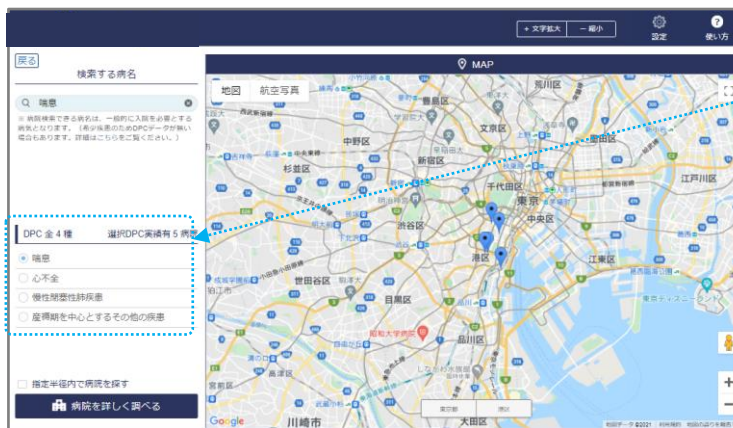
2-B「郵便番号で検索」

郵便番号を入力して検索することができます。
検索ボタンをクリックすると、地図上で病院を確認する画面に進みます。



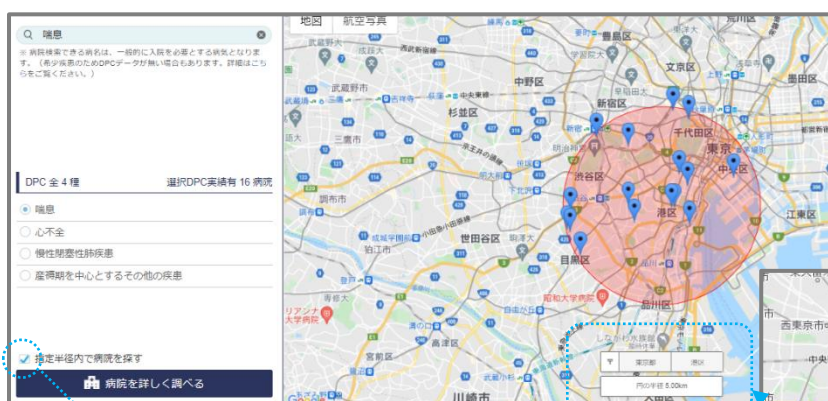
大きな病気にかかった場合、近くの病院で手術すべきか、飛行機に乗ってでも都会の病院で手術すべきか、その判断ができるようになります。

3. 地図上で病院を確認する



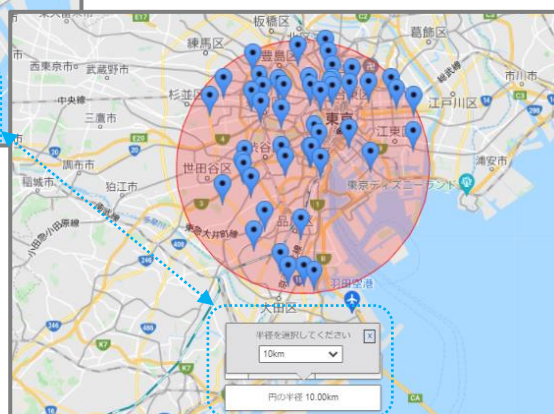
前画面でセットした病名と探す範囲を元に、対応する **DPC 病名** と指定した地域の病院が載った地図が表示されます。

DPC 病名は自動的に選択されますが、候補が複数ある場合、調べたい病名をクリックしてください。



次に、病院を詳しく調べるボタンや地図上のアイコンをクリックすることで病院の詳細情報が確認できます。(使い方 4.へ)

「指定半径内で病院を探す」チェックボックスをクリックすると選択した円の半径内で病院を検索することができます。



円の半径を 5km～100km まで選択することができます

4. 病院を深く調べる(A:病院リスト)

病院を詳しく調べるには「Map」の他に「病院リスト」(4-A)と「評価グラフ」(4-B)があります。



病院を詳しく調べるをクリック

病院を詳しく調べるボタンをクリックすると、地図上で病院の詳細情報を検索できる他、**病院リスト**と**評価グラフ**で調べることができます。

病院リストでは、**患者数評価**、**コスト力評価**、**技術力評価**、**サービス力評価**の4つの視点から多面的にその病院の評価することができます



③**コスト力評価**とは、選択した病院と比較しその病院で入院した期間が短い順番に点数化した指標。早期の退院が可能であることを意味します。

④**サービス力評価**とは、全国の病院と比較しその病院が行わなければならない治療以外の課外活動しっかりとやっているのかを点数化したもの。働いているスタッフのホスピタリティを判断する材料になります。

②**技術力評価**とは、難易度の高い病気にも対応できる能力を点数化したもの。患者の数がたくさんあって、入院する期間が短かったとしても、その病院がみている病気の多くが簡単なものであったとすると、それは見かけ上、良くみえているデータということになります。技術力評価の点数をしっかりと観察して、その病院の患者数評価、コスト力評価が本当に正しいデータであるのか、見極めます。

表の中で知りたい病院名をクリックすると詳細情報を表示できます。また、病院名の右のiボタンをクリックすると病院ホームページを表示できます。

①**患者数評価**とは、全国の病院と比較しその病院に入院した患者の数を点数化した指標を表します。患者数が多いということは、その病院に対する評価が、診療所の医師や救急隊といった専門家の目からみても高いことを意味します。

4. 病院を深く調べる(B:評価グラフ)

病院を詳しく調べるには「Map」の他に「病院リスト」(4-A)と「評価グラフ」(4-B)があります。



評価グラフでは、さらに視覚的にその病院の良さ・悪さを知ることができます。縦軸に患者数（人）、横軸に平均入院日数（日）としたグラフでは、右上に行くほど、患者数が多く（患者数評価が高い）、さらに入院日数が短い（コスト力評価が高い）ことを表します。



技術力評価やサービス力評価といったそれぞれの指標が全国平均よりも大きいものだけを表示することで、自分にふさわしい病院を絞り込んでいくことができます。